

子どものための合唱曲作曲のプロセスについて

草の実少年少女合唱団との交流を通して

山岸 徹

1. はじめに

草の実少年少女合唱団は、山口県宇部市を本拠地として活動を続けている子どもたちの合唱団である。筆者は2010年以後、5年以上にわたりこの合唱団との交流活動を続けてきた。作曲者である筆者の作品を同合唱団で取り上げていただいたことから交流活動が始まった。練習会場にお伺いして練習を見学させていただき、作曲者として作品の意図などを伝えた。その後は、同合唱団のためのオリジナル合唱作品作曲の依頼を受け、その楽曲の演奏を通して実際に子どもたちの指導にも何度か携わらせていただいた。

《作曲の委嘱（演奏者との打ち合わせ）→作曲→合唱団の練習→演奏発表→次の作品の作曲→合唱団の練習（指導）→演奏発表》のようなプロセスを経て作曲した曲は、「光の花束」（後藤理絵 作詩、山岸徹 作曲）、「小ミサ曲ト長調」（山岸徹 作曲、歌詞はラテン語のミサ通常文による、全5曲）、「影絵」、「小麦の中の小人」（新美南吉 作詩、山岸徹 作曲）である。また、以前に作曲していた自作曲である「アヴェ・マリア」を同合唱団の演奏会のために合唱とヴァイオリン、ヴィオラ、ピアノのために編曲した。（資料1）

このようなプロセスを通じ、合唱団との交流の実践によって筆者自身も多くのことを学ぶことが出来た。また、作曲した作品は、その後、他の合唱団や大学でも取り上げられている。（注1）

本稿では、このような活動のプロセスを振り返り、記録するとともに、子どものための合唱指導のあり方や子どものための合唱曲を作曲する際に注意すべき点について考察するものである。

2. 草の実少年少女合唱団について

草の実少年少女合唱団は、1979年に、当時、山口県内の小学校教員であった中村明美によって創設された。以来、36年間にわたって中村の指導のもとで演奏活動を続けている。同合唱団の演奏会プログラムによれば、日本国内はもとよりハンガリー、イタリア、オーストリアなどでも演奏活動を行っている。ウィーン世界少年音楽祭にて第2位（1989年）、及び第3位（2001年）を受賞しているほか、1995年にはイタリアのアッシジ市で開催さ

れた国際コダーイシンポジウムに参加、また 2001 年にはスロバキア・ハンガリーの音楽祭に招待されているとのことである。

同合唱団の特色として、コダーイ・メソッドに基づいた指導がなされていることが挙げられる。中村は、日本コダーイ協会においても長年にわたり指導的な立場であった。

コダーイ・メソッドのポイントは、歌う際におもに無伴奏により美しく和音を奏でること。とくに読譜にあたっては、移動ド唱法に基づいたソルミゼーションを主とし、調性感や和音の機能を身につけること。また、それぞれの国の「音楽の母国語」、すなわちわらべ歌などを大切な素材として用い、あそびの要素を交えながら楽しく音楽の訓練をすることなどが挙げられるが、この合唱団では発足当初よりそれらを一貫して具現している。そのことが、大きな成果となって現れている。

団員の年齢層は、小学校 1 年生から高校 3 年生までと幅広い。人数については、年度による変動が大きく、多い時は 40 名を超えていたとのことであるが、本稿執筆時においては減少しており 8 名とのことである。少人数のため、合唱団の呼称も「草の実プチアンサンブル」としている。

レパートリーの曲目は幅広く、外国の作品が主となっている。歌詞の言語も日本語以外にハンガリー語、ラテン語、英語など多岐にわたっている。しかもすべての楽曲が暗譜で歌われる。筆者が初めてこの合唱団の演奏を聴いた際、小学校低学年の子どもたちが諸外国の多数の作品を暗譜で歌っている様子を見て驚きを感じた。十分な時間をかけ、しっかりとした訓練がなされた結果であると言える。技術的にも高いレベルを維持している。

3. 委嘱作品「光の花束」について

同合唱団では、2010 年以後、筆者がすでに作曲していた次のような作品が取り上げられた。(資料 1)「自由」(大迫弘和作詩、山岸徹作曲)、「アヴェ・マリア」(ラテン語通常文の詞による、山岸徹作曲)、「まど・みちおの詩による女声合唱のための五つの風景」より「空」、「うみは うたいます」(まど・みちお作詩、山岸徹作曲)、「女声合唱曲集 あさ」より「あさ」(谷川俊太郎作詩、山岸徹作曲)

その後、中村を通じて同合唱団のためのオリジナル作品を作曲することの依頼を受けた。最初に完成した作品が「光の花束」である。

合唱曲や歌曲を作曲するにあたっては、詩の選択が重要な鍵となるが、とくに今回のように子どもたちによって歌われるのにふさわしい詩を見つけることはかなりの困難を要する。そこで今回は東京在住の詩人、後藤理絵の書き下ろしの詩に作曲させていただくこととした。この詩は、これより前に筆者が作詩をお願いしていたものだが、今回このような機会を与えられ、合唱曲として仕上げて発表できることになった。

この詩は、明確な形式感を持ったものなので、有節形式の作品とした。詩の内容にふさわしい明るい色彩感と子どもの声域を考慮し、ニ長調、4分の4拍子とした。(譜例1)

冒頭には、同合唱団の持ち味である透明感のある美しい響きを十分に生かすことができるよう、9小節にわたる無伴奏、かつ歌詞を伴わないヴォカリース部分を配した。これは中村からの要望でもあった。それに続く主部は、シンコペーションのリズムを基調としたピアノ伴奏に支えられた躍動感のある曲想とした。

この作品は、2012年8月の同合唱団サマー・コンサートにおいて中村の指揮により初演された。(資料1)

4. 委嘱作品「ト長調の小ミサ曲」(全5曲)について

草の実少年少女合唱団からの委嘱を受けて作曲した2作目の作品である。前作はピアノ伴奏付きであったが、今回は声の響きの美しさを存分に発揮できることを意図し、全体にわたり無伴奏とした。音域は、gからa²まで2オクターブを超え、声部数もユニゾンから5声部まで各部分で多様に変化するようにした。全体として、子どものための作品としては、かなり難易度の高いものとなった。(譜例2)

第1曲：Kyrie (憐れみの讃歌)、第2曲：Gloria (栄光の讃歌)、第3曲：Sanctus (聖なるかな)、第4曲：Benedictus (ほむるべきかな)、第5曲：Agnus Dei (神の子羊)の全5曲からなる。第1曲から第4曲は2012年から2013年にかけて作曲、その後2014年に第5曲を作曲した。歌詞は、ラテン語によるミサ通常文に基づいているが、楽曲の構成上、一部分を省略して用いている。Credo (信仰告白)の部分は作曲していない。

作曲にあたっては、この合唱団の子どもたちの清らかな美しい歌声と、筆者がたびたび訪れた宇部市郊外の緑に包まれた風景のイメージとが繋がって、自然に浮かんできた音楽をまとめた。音楽的な語法としては、基本的にはヨーロッパの伝統的な合唱のスタイルに則っており、その中でオリジナルなイメージを表現しようと考えた。ホモフォニックな部分とポリフォニックな部分が交互に登場し、全体として複層的な音空間を表出するよう意図した。なお、同合唱団の子どもたちは平素よりラテン語の歌詞による曲を多く歌っており、歌詞の読み方についての不安はなかった。

《第1曲：Kyrie (憐れみの讃歌)》

ト長調、8分の6拍子。〈A-B-A-C-A-コーダ〉のようなロンド形式に近い構成となっている。冒頭は主旋律のユニゾンによって始まるが、その後2声部、3声部、4声部、そして最終和音は5声部と次第に広がり、厚みを増してゆく。

《第2曲：Gloria (栄光の讃歌)》

ト長調、2分の2拍子。4声部の部分と3声部の部分が交互に現れる。冒頭において Gloria

(栄光) という言葉を伴った旋律の断片が上声部から下声部へ順次登場する階梯導入の手法を用いることによって、言葉のイメージにふさわしいファンファーレのような華やかな演奏効果を意図している。その後、主部を経て再び Gloria (栄光) の言葉を伴った旋律が登場する。後半では、Domine Deus (主なる神よ) と Agnus Dei (神の子羊よ) に言葉が主に繰り返され、終結部のクライマックスへと向かう。

《第3曲：Sanctus (聖なるかな)》

ト長調、4分の4拍子 → 4分の3拍子 → 4分の4拍子。3声部の部分と4声部の部分が交互に現れる。冒頭における Sanctus (聖なるかな) の旋律は、ポリフォニックなスタイルにより Dominus (主) という言葉の部分に向かい順次進行で上昇してゆく。その後、Pleni sunt caeli et terra gloria tua (天も地もあなたの栄光に満ちています) の部分ではやや落ち着いた曲想となる。続く中間部は、Hosanna in excelsis (いと高きところにホサナ) の詞を伴い4分の3拍子となる。その後4分4拍子の部分が再現され、終結部分に向かう。

《第4曲：Benedictus (ほむるべきかな)》

それまでの3曲はト長調であったが、この第4曲において長3度低い変ホ長調となる。8分の9拍子 → 8分の6拍子。Benedictus (ほむるべきかな) の歌詞を伴い、明るく伸びやかでやや落ち着いた曲想で進む。

《第5曲：Agnus Dei (神の子羊)》

ト長調、4分の3拍子。ホモフォニー、4声部のスタイルで、落ち着いた雰囲気進む。終結和音は5声部となり静かに終わる。

この作品の第1曲から第4曲までは、2013年8月に開催された同合唱団のサマー・コンサートにおいて、筆者自身の指揮により初演した。また、2014年8月に開催されたサマー・コンサートにおいては、全5曲が中村の指揮によって演奏された。(資料1)

5. 委嘱作品「影絵」、「小麦の中の小人」について

同合唱団では、近年卒団生が相次ぎ、団員数が減少している。そこで少人数でも演奏効果が発揮できるよう2声部または、3声部を主とする小曲として、新美南吉の詩による「影絵」と「小麦の中の小人」の2曲を2015年に作曲した。詩から感じ取ることのできる風景、色彩、情感、温度感などの印象を描写的に音楽にした。(譜例3)

「影絵」(新美南吉作詩、山岸徹作曲)

イ長調、4分の4拍子。炎に照らされて影絵をする母と子の情景。不確かにゆらゆらと揺れる。さびしさの中にもほのかなあたたかさや落ち着いた雰囲気を醸し出すことを意図した。

「小麦の中の小人」（新美南吉作詩、山岸徹作曲）

イ長調、8分の6拍子。金色に輝く雄大な小麦畑。そこから想像されるファンタジーの世界。澁刺としたテンポで進みながら広がってゆく。

これら2曲は、2015年7月に京都で開催された「アルティ声楽アンサンブルフェスティバル2015」において中村の指揮により初演された。（資料1）

6. 「アヴェ・マリア」について

この作品は1995年、当時筆者が勤務していた奈良文化女子短期大学音楽学科における合唱の授業教材として作曲し、同学科の定期演奏会において初演されたラテン語の歌詞に基づく合唱曲である。その後出版され、他の合唱団でも取り上げられている。（注2）

2014年8月に開催された同合唱団のサマー・コンサートにおいて、合唱とピアノにヴァイオリンとヴィオラのオブリガートを伴う編成に編曲し、アンコール曲として取り上げられた。ヴァイオリン・林靖子、ヴィオラ・臼木麻弥、ピアノ・尾形大介、そして筆者自身の指揮で演奏した。（資料1）

7. 草の実少年少女合唱団とのリハーサル・セッションについて

同合唱団において自作品を取り上げていただく際には、演奏会前に練習会場を訪問させていただき、リハーサルを見学させていただくことができた。その際、作曲者としての意図、作品に対する思いなどを子どもたちに伝えさせていただいた。そのような機会を得たことで、作曲する際に意図していた音楽のイメージが、実際に子どもたちによって歌われた時、どのように表現されるかについて理解することができた。また、実際に直接子どもたちの指導をさせていただくこともあった。そのようなことから筆者自身も新たなインスピレーションを持つことができ、次の作品を生む原動力となった。

そのようなリハーサル・セッションの一部を振る。

《2013年4月27日～28日のリハーサル・セッション（場所：宇部市・中村宅）》

指揮者・中村氏の自宅において、子どもたちとともにピアノを囲んで家庭的な雰囲気の中で進んだ。取り上げた曲は、前掲「ト長調の小ミサ曲」より第1曲：Kyrie（憐れみの讃歌）、第2曲：Gloria（栄光の讃歌）、第3曲：Sanctus（聖なるかな）、第4曲：Benedictus（ほむるべきかな）の4曲である。とくに第3曲と第4曲の2曲は当日初めて子どもたちに楽譜が配布されたのだが、子どもたちは初見で見事に歌いこなすことができた。日頃の読譜力の訓練の成果が発揮された。

筆者が実際に直接子どもたちの指導をさせていただくことができたが、曲の構造の理解、

とくにパートごとに異なる複層的な流れを強弱の変化を伴って歌い分けることに重点を置いた。

《2015年4月29日のリハーサル・セッション（場所：宇部市・新川ふれあいセンター）》

新美南吉の詩による「影絵」と「小麦の中の小人」の2曲の練習を行った。はじめに曲のテンポ設定やリズム、色彩感についてのイメージを伝え、その後、声の響きや詩の表現などを主眼として指導を進めた。少人数でも美しい響きにするため、声の出し方や、言葉の歌い方など、子どもたち一人ひとりの個性に応じた指導をするよう心がけた。

8. 音楽を作るといふこととコダーイ・メソッドの日本における応用

作曲した音楽は、楽譜に書いて演奏者に伝達し、演奏されることによって具体化される。その際、慎重に記譜することは当然であるが、楽譜のみによって作曲者がイメージした音楽を完璧に他者に伝達することは困難である。一方において、演奏者は、自らの経験や感性を通して楽譜からさまざまなイメージを感じ取ることができる。そのようなプロセスにおいては、作曲者と演奏者の間に微妙なずれが生じる場合もしばしばありうる。しかし、そのようなずれは、必ずしも負の方向に働くとは限らず、お互いが予期しなかった偶然の効果を生む場合もある。その意味においては、新曲を発表するということは、作曲者と演奏者との共同作業という側面があると言える。

草の実少年少女合唱団の子どもたちは、音楽のさまざまな可能性を表現する。それは、日頃の訓練の成果により高度な技術が身につけているからである。ひたむきに練習を重ねる子どもたちと指導者の力によるものである。また、保護者の理解と支えがなくては成り立たない。

筆者は、かつてハンガリーの合唱教育の現場を訪れた際、まさに同様のことを痛感した。「良い指導者、よい環境、指導者間のチームワーク、そして何より素晴らしい子どもたち。（そこには、もちろん親たちの理解も不可欠であろう。）信頼関係、そういった諸要因のすべてのピークがまさに一致し、しかもコダーイ・システムに代表されるこの国の音楽教育の良き伝統、土壌に培われたところに『カンテムス』という素晴らしい『花』が開いたと言えるのではないだろうか。」¹

また、草の実少年少女合唱団において中村は、子どもたちに、音楽とともに礼儀などについてもていねいに指導している。それは、子どもたちに対する指導者の愛情に他ならない。この面においても、まさにコダーイによって提唱された音楽教育のありかたを具現していると言える。「特別な音楽家を育てるのが目的ではなく、言わば人間教育のために音楽を教え

ている。」²

現代のハンガリーの音楽教育者、イルディコ・ヘルボイ・コチャールは、その著書において次のように述べている。「子どもたちは、ともに歌うこと、ともに音楽を作ることにより大きな喜びを感じるようになり、良い音楽に対してより敏感となるのである。私たちの音楽教育の目的は、子どもたちにこの感受性を、そして音楽の生き生きとした鼓動を感じることでできる能力を身につけさせることに他ならない。そして、それらすべては子どもたちの芸術の美、善、そして真実に対して開眼させるのである。」³

筆者は、今まで多くの演奏者に出会い、委嘱作品を作曲させていただいた。(資料2)しかし、同合唱団との活動のように直接の指導や指揮をさせていただける機会は多くない。草の実少年少女合唱団の子どもたちと中村明美氏との出会いによって、貴重な機会を与えられた。そのことに心から感謝する次第である。



写真1：リハーサル・セッションの様子
2015年4月29日、新川ふれあいセンター



写真2：草の実プリアンサンプル
サマーコンサートのチラシ
2012年8月21日

注

1. 「ト長調の小ミサ曲」全5曲は、「アンサンブル・ダッフオディル 第13回リサイタル」において同アンサンブル（指揮：寺尾正氏）によって再演された。（2015年3月14日、ムラマツ リサイタルホール新大阪。）その後、大阪教育大学音楽科（担当：寺尾正氏）、大阪青山大学短期大学部（担当：中尾かつ江氏）においても使用されている。それ以外に、声楽アンサンブル MEZAME（指揮：粕谷雪子氏）においても演奏されている。
2. 山岸 徹 合唱作品シリーズ1「アヴァ・マリア」、1999年、ハルモニア

引用文献

1. 山岸 徹「ハンガリーにおける合唱教育について -カンテムス少年少女合唱団-」
奈良文化女子短期大学紀要 第28号、1997年、169頁
2. 上掲紀要論文、173頁
3. イルディコ・ヘルボイ・コチャール著、山岸徹訳、知念直美・後藤田純生監修
「合唱指導の出発点 -小・中学校におけるポリフォニー、ハーモニー、形式の指導-」、2002年、
音楽之友社、93頁

参考文献

ラテン語歌詞の表記に関しては次の文献を参考にした。

1. 三ヶ尻正「ミサ曲 ラテン語・教会音楽ハンドブック」、2004年、ショパン
-

資料1：草の実少年少女合唱団による《山岸 徹作品》演奏の記録

	演奏会名（会場）	年月日	演奏された《山岸 徹作品》曲名、演奏者名
1	草の実少年少女合唱団 クリスマスコンサート（宇部カトリック教会）	2010年12月23日	曲名：「自由」（山岸 徹・作曲、大迫弘和・作詩） 「アヴェ・マリア」（ラテン語の詩による、山岸 徹 作曲） 合唱：草の実少年少女合唱団 指揮：中村明美 ピアノ：アレックス・クヌ
2	草の実少年少女合唱団 サマー・コンサート（宇部カトリック教会）	2011年8月27日	曲名：「まど・みちおの詩による女声合唱のための五つの風景」より 「空」（まど・みちお・作詩、山岸 徹・作曲） 合唱：草の実少年少女合唱団 指揮：中村明美 ピアノ：アレックス・クヌ
3	草の実少年少女合唱団 京都演奏会（京都府立文化博物館）	2012年3月31日	曲名：「女声合唱曲集 あさ」より「あさ」（谷川俊太郎・作詩、山岸 徹・作曲） 「まど・みちおの詩による女声合唱のための五つの風景」より 「うみは うたいます」（まど・みちお・作詩、山岸 徹・作曲） 合唱：草の実少年少女合唱団 指揮：中村明美 ピアノ：アレックス・クヌ
4	草の実少年少女合唱団 サマー・コンサート（ANA クラウンプラザホテル 国際会議場）	2012年8月24日	曲名：＜草の実少年少女合唱団委嘱作品＞「光の花束」《初演》 （後藤理恵・作詩、山岸 徹・作曲） 合唱：草の実少年少女合唱団 指揮・中村明美 ピアノ・国府華子
5	第40回 山口県芸術演奏会（山口県民会館大ホール）	2012年12月16日	曲名：＜草の実少年少女合唱団委嘱作品＞「光の花束」《初演》 （後藤理恵・作詩、山岸 徹・作曲） 合唱：草の実少年少女合唱団 指揮・中村明美 ピアノ・アレックス・クヌ
6	草の実少年少女合唱団 サマー・コンサート（宇部カトリック教会）	2013年8月24日	曲名：＜草の実少年少女合唱団委嘱作品＞「ト長調の小ミサ曲」より 1.Kyrie 2.Gloria 3.Sanctus 4.Benedictus （ラテン語通常文の詩による、山岸 徹 作曲）《計4曲の初演》 合唱：草の実少年少女合唱団 指揮・山岸 徹
7	草の実少年少女合唱団 創立35周年記念演奏会（ANA クラウンプラザホテル宇部・国際会議場）	2014年8月21日	曲名：＜草の実少年少女合唱団委嘱作品＞「ト長調の小ミサ曲」（全5曲） 1.Kyrie 2.Gloria 3.Sanctus 4.Benedictus 5.Agus dei （ラテン語通常文の詩による、山岸 徹 作曲） Ave Maria（山岸 徹 作曲）*アンコール曲 合唱：草の実少年少女合唱団、指揮・中村明美・山岸 徹 ヴァイオリン・林靖子 ヴィオラ・臼木麻弥 ピアノ・尾形大介
8	アルティ声楽アンサンブル フェスティバル 2015（京都府立府民ホール アルティ）	2015年7月18日	曲名：＜草の実少年少女合唱団委嘱作品＞「影絵」、「小麦の中の小人」《初演》 （新美南吉・作詩、山岸 徹・作曲） 合唱・草の実プリアンサンブル 指揮・中村明美
9	草の実少年少女合唱団 サマー・コンサート（ANA クラウンプラザホテル宇部・万葉の間）	2015年8月21日	曲名：＜草の実少年少女合唱団委嘱作品＞「影絵」、「小麦の中の小人」 （新美南吉・作詩、山岸 徹・作曲） 合唱・草の実プリアンサンブル 指揮・中村明美

資料2：山岸徹・委嘱を受けて作曲した作品一覧（2000年以降の分）その1 ※掲載氏名は敬称略

A. 歌曲、合唱曲、器楽曲

	作品名	発表年月	編成	摘要
1	まど・みちおの詩による混声合唱のための「五つの風景」 全5曲（まど・みちお 作詩、山岸 徹 作曲） 1.空 2.みは うたいます 3.雲 4.コスモスが さいた 5.雪がふる <姫路市民合唱団委嘱作品>	2003年11月	混声4部合唱 +ピアノ	初演：姫路市民合唱団定期演奏会（パルナソスホール） 合唱：姫路市民合唱団、指揮：鏡谷明夫 楽譜：カワイ出版、2004年10月
2	無伴奏合唱曲「天満の市」（編曲作品） （日本民謡による、山岸 徹 作曲）	2004年3月	混声6部合唱 （無伴奏）	初演：バンキエーリ・シンガーズ（ハンガリー）第6回日本公演・大阪演奏会（大阪中央公会堂ほか）、演奏：バンキエーリ・シンガーズ 日本ハンガリー合唱交流委員会からの委嘱により編曲したもの。 「バンキエーリ・シンガーズ」はハンガリーのアカペラコーラスグループである。なお、同グループによる演奏は、CDに収録されている。 （HASF-1012）
3	無伴奏混声合唱曲「グロリア」 （ラテン語通常の詩による、山岸 徹 作曲） <兵庫県立長田高等学校音楽部委嘱作品>	2005年2月	混声8部合唱 （無伴奏）	初演：High School Music Festival ～輝け！若い音楽家たち 合唱：兵庫県立長田高等学校音楽部、指揮：合田芳弘 （神戸新聞松方ホール）
4	無伴奏合唱のための大阪のわらべ歌 （全5曲、編曲作品） （わらべうたによる、山岸 徹 作曲） <豊中少年少女合唱団委嘱作品>	2005年3月	同声合唱 （無伴奏）	初演：豊中少年少女合唱団演奏会 合唱：豊中少年少女合唱団、指揮：西岡茂樹 （豊中市立アークア文化ホール）
5	混声合唱曲「朝のリレー」 （谷川俊太郎 作詩、山岸 徹 作曲） <兵庫県合唱連盟委嘱作品>	2005年8月	混声4部合唱 +ピアノ	世界合唱シンポジウム・兵庫サテライト コーラスの祭典兵庫05 ファイナルコンサート（神戸国際会館） 合唱：約600人による合同合唱、指揮：森 啓一 楽譜：カワイ出版「混声合唱曲集 あさ」2009年6月
6	女声合唱曲「あさ」 （谷川俊太郎 作詩、山岸 徹 作曲） <大和高田市コーラスのつどい委嘱作品>	2006年10月	女声3部合唱 +ピアノ	初演：大和高田市コーラスのつどい25周年記念演奏会 （大和高田市文化会館）同演奏会にて合同演奏曲として演奏された。 合唱：大和高田市コーラスのつどい参加団体合同合唱団 指揮：当麻礼子
7	女声合唱曲「青いカナリヤ」 （蒲田哲也 作詩、山岸 徹 作曲） <大和高田市コーラスのつどい委嘱作品>	2006年10月	女声2部合唱 +ピアノ	初演：大和高田市コーラスのつどい25周年記念演奏会 （大和高田市文化会館）同演奏会にて合同演奏曲として演奏された。 合唱：大和高田市コーラスのつどい参加団体合同合唱団 指揮：中川令子
8	歌曲「朝に」 （立原道造 作詩、山岸 徹 作曲）	2007年1月	独唱（二重唱） +ピアノ	宮崎忠彦 古稀記念リサイタル（ムラマツ リサイタルホール 新大阪） 重唱：宮崎忠彦、宮崎八代子 宮崎忠彦氏からの委嘱により作曲したもの。
9	まど・みちおの詩による女声合唱のための「五つの風景」 全5曲（まど・みちお 作詩、山岸 徹 作曲） 1.空 2.みは うたいます 3.雲 4.コスモスが さいた 5.雪がふる	2008年7月	女声4部合唱 +ピアノ	初演（女声合唱版）：女声合唱アモーレ 15周年記念 3rd Concert （いずみホール） 女声合唱団アモーレからの委嘱により、前掲同名曲混声合唱版を女声合唱に改作したもの。 合唱：女声合唱アモーレ、友情出演：鹿ノ台アザレアコーラス 指揮：雑賀美可、楽譜：カワイ出版、2009年4月
10	歌曲「青春とは」 （Samuel Ullman 作詩、山岸 徹 訳詞・作曲）	2008年7月	独唱+ピアノ	ムジーク・カメラデン演奏会（豊中市ムジカメ・ザール） 独唱：小林淳一 小林淳一氏からの委嘱により作曲したもの。
11	合唱曲 Allerua （ラテン語の詩による、山岸 徹 作曲）	2008年9月	女声、または 同声3部合唱 （無伴奏）	大阪キリスト教短期大学・幼児教育学科における「声楽Ⅱ」の授業教材用として、担当教員からの依頼により作曲したもの。他の合唱団においても練習用の楽曲としてしばしば演奏されている。
12	合唱曲 Gloria （ラテン語の詩による、山岸 徹 作曲）	2008年9月	女声、または 同声3部合唱 （無伴奏）	大阪キリスト教短期大学・幼児教育学科における「声楽Ⅱ」の授業教材用として、担当教員からの依頼により作曲したもの。他の合唱団においても練習用の楽曲としてしばしば演奏されている。
13	混声合唱曲集「あさ」全4曲 （谷川俊太郎・立原道造 作詩、山岸 徹 作曲） 1.あさ 2.朝のリレー 3.子守唄 4.朝に	2008年12月	混声4部合唱 +ピアノ	初演：姫路市民合唱団定期演奏会（パルナソスホール） 姫路市民合唱団からの委嘱により、曲集としてまとめたもの。上掲、女声合唱曲「あさ」、および歌曲「朝に」の混声合唱版を含む。 合唱：姫路市民合唱団、指揮：鏡谷明夫 楽譜：カワイ出版「混声合唱曲集 あさ」2009年6月

資料2：山岸徹・委嘱を受けて作曲した作品一覧（2000年以降の分）その2 ※掲載氏名は敬称略

14	女声合唱曲集「あさ」全4曲 (谷川俊太郎・立原道造 作詩、山岸 徹 作曲) 1.あさ 2.朝のリレー 3.子守唄 4.朝に	2010年5月	女声3部合唱 +ピアノ	初演：鹿ノ台アザレアコーラス定期演奏会（いづみホール） 鹿ノ台アザレアコーラスからの委嘱により、上掲混声合唱曲集「あさ」の 女声合唱版として改作したもの。 合唱：鹿ノ台アザレアコーラス、指揮：雑賀美可 楽譜：カワイ出版、2012年4月
15	混声合唱曲「自由」 (大迫弘和 作詩、山岸 徹 作曲) <姫路市民合唱団サマー・ジョイントコンサート 20回記念委嘱作品>	2010年8月	混声3部合唱 +ピアノ	初演：姫路市民合唱団 サマー・ジョイントコンサート (パルナソスホール) 合唱：姫路市民合唱団、指揮：江崎 潔 合唱：出演者全員の合同合唱
16	男声合唱曲「季節の幕間」 (門倉詠 作詩、山岸 徹 作曲) <メンネルコール "I" 委嘱作品>	2010年12月	男声4部合唱 (無伴奏)	初演：男声合唱団メンネルコール "I" 第1回リサイタル (赤穂市文化会館) 合唱：男声合唱団メンネルコール "I" 指揮：江崎 潔
17	男声合唱組曲「光と影の四季」(全5曲) (門倉詠 作詩、山岸 徹 作曲) <メンネルコール "I" 委嘱作品>	2011年12月	男声4部合唱 (無伴奏)	男声合唱団メンネルコール "I" 第2回リサイタル (赤穂市文化会館) 上掲「季節の幕間」を含む 合唱：男声合唱団メンネルコール "I" 指揮：江崎 潔
18	「中国地方の子守唄」(編曲作品) (日本民謡による、山岸 徹 作曲)	2012年7月	ソプラノ独唱 +ヴァイオリン、 ピアノ	初演：ウィーン国立音楽大学教授陣演奏会（徳島文理大学） ウィーン国立音楽大学教授陣の演奏者からの依頼により作曲したもの。 ソプラノ独唱：クラウディア・ヴィスカ ヴァイオリン：エドヴァルト・ウェンコフスキー ピアノ：ペーター・エフラー
19	合唱曲「光の花束」(後藤理絵 作詩、山岸 徹 作曲) <草の実少年少女合唱団委嘱作品>	2012年8月	同声3部合唱 +ピアノ	初演：草の実少年少女合唱団サマーコンサート (宇部市ANAクラウンプラザホテル国際会議場)
20	「小ミサ曲ト長調」より4曲 (ラテン語通常文の詩による、山岸 徹 作曲) 1.Kyrie 2.Gloria 3.Sanctus 4.Benedictus <草の実少年少女合唱団委嘱作品>	2013年8月	同声4部合唱 (無伴奏)	初演：草の実少年少女合唱団サマーコンサート 合唱：草の実少年少女合唱団、指揮：山岸 徹 (宇部カトリック教会聖堂)
21	「新美南吉の詩による五つの歌」(全5曲) (新美南吉 作詩、山岸 徹 作曲) 1.蝶々 2.春の電車 3.月夜 4.貝殻 5.泉 <姫路市民合唱団委嘱作品>	2013年12月	混声4部合唱 +ピアノ	初演：姫路市民合唱団定期演奏会（パルナソスホール） 合唱：姫路市民合唱団、指揮：鏡谷明夫 楽譜：カワイ出版、2015年2月
22	女声合唱曲集「季節の彩（あや）」(全5曲) (島崎藤村・高田敏子・三浦照子 作詩、山岸 徹 作曲) 1.初恋 2.あじさいの花 3.秋のかかみ 4.さくら 5.木蓮 <"円" 女声ハーモニー委嘱作品>	2014年7月	女声3部合唱 +ピアノ	"円" 女声ハーモニー演奏会（川西すみつかホール） 合唱："円" 女声ハーモニー、指揮：安川裕子 楽譜：マザーアース、2015年1月
23	「小ミサ曲ト長調」より (ラテン語通常文の詩による、山岸 徹 作曲) 5.Agnus dei <草の実少年少女合唱団委嘱作品>	2014年8月	同声4部合唱 (無伴奏)	初演：草の実少年少女合唱団サマーコンサート 合唱：草の実少年少女合唱団、指揮：中村明美 (宇部市ANAクラウンプラザホテル国際会議場)
24	合唱曲「影絵」(新美南吉 作詩、山岸 徹 作曲) <草の実少年少女合唱団委嘱作品>	2015年7月	同声3部合唱 (無伴奏)	初演：アルティ声楽アンサンブルフェスティバル 2015 (京都府立府民ホール アルティ) 合唱：草の実少年少女合唱団、指揮：中村明美
25	合唱曲「小麦の中の小人」 (新美南吉 作詩、山岸 徹 作曲) <草の実少年少女合唱団委嘱作品>	2015年7月	同声3部合唱 (無伴奏)	初演：アルティ声楽アンサンブルフェスティバル 2015 (京都府立府民ホール アルティ) 合唱：草の実少年少女合唱団、指揮：中村明美

B.校歌、記念歌

1	兵庫県立姫路西高等学校創立130周年記念歌 「クロスロード」	2008年11月	混声4部合唱 +ピアノ	初演：兵庫県立姫路西高等学校創立130周年記念式典 演奏：同校生徒による
2	兵庫県立姫路西高等学校創立130周年記念歌 「今日は記念日」	2008年11月	混声4部合唱 (無伴奏)	初演：兵庫県立姫路西高等学校創立130周年記念式典 演奏：同校生徒による
3	大阪府立みどり清朋高等学校校歌	2009年4月	斉唱、または 女声3部合唱 +ピアノ	初演：同校校内行事 演奏：同校生徒による その後、吹奏楽版も作成した

譜例 1 : 光の花束 (後藤理絵 作詩、山岸 徹 作曲) 冒頭部分

光の粒 ちりばめられた
 遥かとおくの 未来にむかう
 希望のすみかへ 飛び立てるから
 超えてゆこうよ プリズムの河

光の束 みなみ風吹く
 ほった輝かせ 魔法をかける
 泣いてた心に 笑顔誘って
 虹を呼び寄せる 光のシャワー

スタートできる 今こそ
 追い風が きみの翼
 やさしく羽を ふくらませて
 その粒 束ねるように大きくはばたこう

スタートしたら 昨日も
 包み込む きみの翼
 軽やかに羽を ふくらませて
 その瞬(とき) 束ねるように大きくはばたこう

♩ = 60 ca.

Staff I: O O O A A A

Staff II: O O A A

Staff III: O O A A

♩ = 69 ca.

Staff I: A A A A

Staff II: A A A A

Staff III: A A A A

♩ = 69 ca.

Staff I: ひかりの - つぶ ちり ばめ られ た - はるか - とおくの - みら い に むか う

Staff II: ひかりの - つぶ ちり ばめ られ た - はるか - とおくの - みら い に むか う

Staff III: ひかりの - つぶ ちり ばめ られ た - はるか - とおくの - みら い に むか う

譜例2：「ト長調の小ミサ曲」第1曲、第2曲、第3曲、第4曲、第5曲の冒頭部分

第1曲
Kyrie
冒頭部分

$\text{♩} = 80 \text{ ca.}$
mp

Ky - ri - e e - le - i - son Ky - ri - e e - le - i - son

Ky - ri - e e - le - i - son Ky - ri - e e - le - i - son

第2曲
Gloria
冒頭部分

$\text{♩} = 76$
f

Glo - ri - a, Glo - ri - a, Glo - ri - a,

Glo - ri - a, Glo - ri - a, Glo - ri - a,

Glo - ri - a, Glo - ri - a, Glo - ri - a,

Glo - ri - a, Glo - ri - a, Glo - ri - a,

第3曲
Sanctus
冒頭部分

$\text{♩} = 120 \text{ ca.}$
mf

San - ctus, San - ctus, San - ctus Do - mi - nus De - us Sa - ba - oth.

San - ctus, San - ctus, San - ctus Do - mi - nus De - us Sa - ba - oth.

San - ctus, San - ctus, San - ctus Do - mi - nus De - us Sa - ba - oth.

第4曲
Benedictus
冒頭部分

$\text{♩} = 60 \text{ ca.}$
mf

Be - ne - di - ctus, be - ne - di - ctus, be - ne - di - ctus qui

Be - ne - di - ctus, be - ne - di - ctus, be - ne - di - ctus qui

Be - ne - di - ctus, be - ne - di - ctus, be - ne - di - ctus qui

第5曲
Agnus Dei
冒頭部分

$\text{♩} = 84$
p *un poco rit.* *mp a tempo*

Ag - nus de - i, Ag - nus de - i, Ag - nus de - i, Ag - nus de - i, qui

Ag - nus de - i, Ag - nus de - i, Ag - nus de - i, Ag - nus de - i,

Ag - nus de - i, Ag - nus de - i, Ag - nus de - i, Ag - nus de - i,

譜例3：「影絵」、「小麦の中の小人」冒頭部分

「影絵」
冒頭部分

$\text{♩} = 76$
mp

B.O. (bouche ouverte) A かげえしました ランプをつけて
*口を閉じないハミング

B.O. A かげえしました ランプをつけて

B.O. A かげえしました ランプをつけて

mf

さびしいこどもとかあさんが A A A A

さびしいこどもとかあさんが A A A A

さびしいこどもとかあさんが A A A A

ふたりすわって おててをあわせて きつねやとりをかきました

ふたりすわって おててをあわせて きつねやとりをかきました

A A A A きつねやとりをかきました

//

「小麦の中の小人」
冒頭部分

$\text{♩} = 84 \text{ ca.}$
mf

とてもきれいな - こむぎばたけ とてもきれいな - こ

とてもきれいな - こむぎばたけ とてもきれいな - こ

とてもきれいな - こむぎばたけ とてもきれいな - こ

むぎばたけ - こむぎばたけ - ひがてりゃ -

むぎばたけ - こむぎばたけ - ひがてりゃ

むぎばたけ - こむぎばたけ - ひがてりゃ